

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

県立上尾特別支援学校 事業実施報告書

I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 埼玉県 】

1 実践テーマ	【 III 】
2 実施対象者	小学部高学年（4, 5, 6年） 22名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（ ） ② 行事名（ 交流学習 ） ③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ） ② その他（ ）</p>
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> 多くの仲間と知り合い、大勢の雰囲気の中で刺激され、楽しく遊ぶ。 地域住民に対して、本校の理解とノーマライゼーションの理念を広める。
5 取組内容	<p>(1) 小学校との交流会</p> <ul style="list-style-type: none"> 10月に本校に隣接する上尾市立東町小学校の4年生の児童との交流会を実施した。 東町小学校は、本校の児童との交流会を通して、互いの理解を図り、ともに支え合う「心のバリアフリー」を広め、同じ社会を構成する一員であるという仲間意識を育てることや、児童が一人一人の違いを認め、ノーマライゼーションの進展を図ることを目指している。 <p>(2) 交流会の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 東町小学校の4年生の児童が本校の校内見学を行った。 ② それぞれの学校の児童が自己紹介を行った。 ③ 本校の体育の授業に東町小学校の児童が参加した。 種目：サッカー 

6 主な成果	・交流学習を通じ、他者を理解し受け入れる気持ちを醸成することができた。同じ授業（スポーツ）を体験することで、共感関係を深めることができた。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> ・年間4回の交流を行う（毎年行っている） <ul style="list-style-type: none"> 6月「はじめの会」 10月「体育の授業での交流」 11月「東町小学校を訪問」 2月「各クラス、各グループでの交流」 ・東町小学校とは30m程度しか離れておらず、行き来しやすい。 ・4回の交流会のうち、3回は東町小学校が本校を訪問する。
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・交流会について、本校は学校行事として位置づけている。一方、東町小学校は総合的な学習の時間と位置づけている。交流会に対するお互いの学校の目標を達成できるよう、交流会の内容を工夫する必要がある。 ・開催するに当たり、東町小学校の教員との緊密な連携が必要だが、時間を確保するのが難しい。
9来年度以降の実施予定	来年度以降も実施予定